

授業科目

視覚機能学実習II

担当教員名 村田 憲章、石井 雅子、河内 了輔 他	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	90

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎

授業の概要

自覚的検査と他覚的検査の違いを理解した上、それぞれの特性を考えながら検査を進める手技を身につける。眼科検査の特質である心理物理的な側面を理解し、眼科臨床において診断の基礎となる検査データを導き出す技術を習得する。

授業の目的

眼科の日常診療で広く行われている自覚的視力検査、屈折検査、視野検査等を中心とした基本的な検査を円滑に行える技術を習得する。

学習目標

1. 自覚的検査と他覚的検査が区別できる。
2. 閾値の判定基準が説明できる。
3. レンズ交換に伴う網膜像の光学的変化がイメージできる。
4. 自覚的視力、屈折検査が実践できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-3	ガイダンス レポートのまとめ方	実習	村田 憲章、石井 雅子、河内 了輔 他
4	付加度数計算	実習	村田 憲章
5	レンズメータの原理	実習	河内 了輔 他
6	軸転換とスコア表示	実習	河内 了輔 他
7-9	オートレフラクトメータを参照した自覚的屈折検査	1st Round	村田 憲章、石井 雅子、河内 了輔 他
10-12	動的量的視野検査 1 中間インプタの測定	1st Round	村田 憲章、石井 雅子、河内 了輔 他
13-15	レンズメータ 累進屈折力眼鏡、二重焦点眼鏡	1st Round	村田 憲章、石井 雅子、河内 了輔 他
16-18	赤緑テストを利用した過矯正の防止	2nd Round	村田 憲章 他
19-21	静的量的視野検査 測定ストラテジーの違い	2nd Round	村田 憲章 他
22-24	コンタクトレンズに必要な検査	2nd Round	村田 憲章 他
25-27	近見視力検査	3rd Round	村田 憲章、河内 了輔 他
28-30	動的量的視野検査 2 異常視野の測定法	3rd Round	村田 憲章、石井 雅子 他
31-33	眼底写真撮影	3rd Round	村田 憲章、石井 雅子 他
34-36	実践トレーニング 1	実習	村田 憲章、河内 了輔 他
37-39	実践トレーニング 2	実習	村田 憲章、河内 了輔 他
40-42	実技の確認	実習	村田 憲章、石井 雅子、河内 了輔 他
43-45	まとめ	実習	河内 了輔 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み

	眼科検査ガイド 第 2版	根木昭（監）、飯田知弘、近藤峰生 （編） 他	文光堂	2016 年	24,000円+ 税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 40%
 実技試験 30%
 提出物 30%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
 締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
 P201
 murata@nuhw.ac.jp